

第5・6学年 道徳科学習指導案

日 時：令和元年9月9日（月）5校時

場 所：浅茅野小学校5・6年教室

児 童：5年 3名

6年 1名

計4名

指導者：教諭 ○○ ○○

1 主題名

第5学年	第6学年
広い心で【B-(11)相互理解、寛容】	明るく生きる【A-(2)正直、誠実】

2 資料名

第5学年	第6学年
『名医、順庵』東京書籍「新しい道徳5」	『手品師』東京書籍「新しい道徳6」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について(授業者の価値観)

第5学年	第6学年
本主題は、内容項目「B 主として人との関わりに関すること」の「(11)自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」を扱うものである。「自分と異なる意見や立場を尊重する」ことは、広がりや深まりのある人間関係を構築するために必要不可欠なものである。しかし、自分の意見(立場)と異なる人のことを理解し、受け入れることは容易ではない。自分の意見(立場)も大切にしつつ、異なる意見(立場)の人のことも受け入れ、理解しようとする柔軟な心を育てる必要がある。	本主題は、内容項目「A 主として自分自身に関すること」の「(2)誠実に、明るい心で生活すること」を扱うものである。「誠実」であることは、集団生活の中で、楽しく快適に暮らすためにも大切なことである。しかし、日常生活の中で過ちや失敗は誰にでも起こりうることであり、その時に嘘をついたり、ごまかしたりすることは、他者の信頼を失い、自身に後悔を生む。それらを乗り越えるために、自分自身に対する真面目さ、伸び伸び過ごそうとする心の明るさなど、誠実な生き方を大切にする心情を育てる必要がある。

(2) 児童の実態(児童観)～省略

(3) 教材について(教材観)

第5学年	第6学年
本資料は、順庵が、弟子である孝吉の過ちを一方的に叱責するのではなく、孝吉の心の内を静かに聞き、遠く離れた病床の母への思いを慮り、過ちを許すという話である。本時は、順庵の人柄の素晴らしさや、孝吉の立場に立って許しているところ、更に、悩みに気づいてやれなかったことを謝罪している姿に触れ、相手のことを理解し、認めることの大切さについて考えさせるために、「孝吉の話を聞いた順庵はどんなことを考えたのだろうか。」という中心発問をする。この中心発問により、順庵の孝吉のことを理解し、認めたことの素晴らしさに気づかせるとともに、自身の経験と照らし合わせ、相手のことを理解し、認めることの大切さを理解することに繋げたい。	本資料では、あまり売れない手品師が、大劇場のステージに立てるチャンスを捨て、男の子と交わした約束を守るという内容の話である。本時は、手品師がその決心をするまでの心の葛藤に目を向け、共感的に考えさせるために、「手品師が男の子の前で手品をしている時の気持ちを想像しよう。」という中心発問をする。この中心発問により、手品師が葛藤の末に下した決断について、その思いを想像し、自身が誠実であるために大切にしたいことは何なのか考えさせることに繋げたい。

4 ねらい

第5学年	第6学年
順庵の、相手のことを理解し、認める姿を通して、相手の立場に立ち、異なる意見(立場)の人のことも受け入れ、理解しようとする柔軟な心を育てる。	手品師の、葛藤しながらも自分にとって大切なことを選ぶ姿を通して、自身が誠実に生きるために重視したいことは何かを考え、誠実な生き方を大切にする心を育てる。

5 授業のポイント

第5学年	第6学年
- 登場人物になりきって考えさせるための工夫 資料は教科書を使わず、コピーしたものを使用する。配布の際に、前半と後半に分けて配布する。前半は孝吉が順庵の部屋に連れていかれる場面まで、その後の順庵の言動を「自分ならどうするか。」自由に発想できるようにする。また、後半は、順庵の言動を中心に上げ、順庵の言動について考察するとともに、順庵の考え方と自分の考え方を比較し、キーワードである「寛容」に近づけるようにする。 - 自分の考えを深めるための工夫 自分の考えを深めるために、3人での意見交流の時間を設定するとともに、交流後、友だちの考えを受けて、自分の考えをさらに深める場面を設定し、考えを深め、広げられるようにする。	- 内容項目を深く意識させるための工夫 導入段階で先に本時の内容項目を示し、そこから連想するワードを樹形図的に書き出していく。これにより内容項目に対して、今の自分がかんがえていることが視覚化できる。更にこれを振り返りで活用し、授業で深まった考えなどを書き足していくことにより、自分の考えの深まり、ひろがりを視覚的に実感できるようにする。 - 登場人物になりきって考えさせるための工夫 資料は教科書を使わず、コピーしたものを使用する。配布の際に、前半と後半に分けて配布する。前半は、手品師が電話を受け葛藤しているところまで、その後の手品師の判断を「自分だったらどうするか。」自由に考えさせ、自身の考える誠実について深く考察できるようにする。
考えを深め、自己の生活と結びつけるための工夫 授業の最後に道德カードを活用し、授業で考えたことをまとめ、振り返る時間を確保することで、今日の授業で考えたことと今後の生活を結びつけて考えられるようにする。	

6 本時案

時 間	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の反応、☆教師の働きかけ)	指導上の留意点 (□評価、◆内容項目に迫るための手立て)	直接 or 間接指導	指導上の留意点 (□評価、◆内容項目に迫るための手立て)	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の反応、☆教師の働きかけ)	時 間
導 入	○大切な本を貸した友だちが、本を汚してしまい、泣きそうな顔で謝っています。あなたはどんな気持ちになりますか。 ・許せない。 ・わざとじゃないなら仕方ない。 ○お話を聞いて、次のことについて考えよう。 範読(前半)	◆資料を2分割にして提示する。		・キーワードについて、辞書的な意味を調べさせる。 ◆キーワードから連想する言葉を自由に書かせる。	☆キーワードの発表「誠実」 ○キーワードから想像することを樹形図に書こう。	導 入
展 開 前 半	○順庵に「元気がないが」と声をかけられた時、孝吉はどんなことを考えただろう。 ・本当のことを言ってしまいたい。 ・本当のことを言ったら弟子をクビになるかもしれない。 ◎孝吉の話を聞いた順庵はどんなことを考えただろうか。 ・何があっても盗みはだめだ。 ・事情はよくわかるし、仕方ない。 ・孝吉は悩んだだろう。 かわいそうだな。 個人思考→3人で交流→自分の考えを深める	◆ワークシートに記入する。 □孝吉の事情を慮って、自分ならどう対応するか考えることができたか。		◆資料を2分割にして提示する。 ※発問に対して、教師もいくつか考えを提示する。 ◆事前に他校などと連携して考えを集めておいて紹介する。	発表 範読(前半) ○手品師はどんな気持ちで「きっと来るよ。」と言っただろう。 ・男の子が可愛そう。 ・励ましてあげたいな。 ○手品師が友人の誘いを聞いた時、どんなことを考えただろう。 ・チャンスだ！ ・でも、男の子との約束もあるし、どうしよう。 範読(後半) ◎手品師が男の子の前で手品をしている時の気持ちを想像してみよう。	展 開 前 半

展 開 後 半	意見発表 範読(後半) ○順庵の言葉を聞いた孝吉は順庵のことをどう思っただろう。 ・優しい。 ・ありがたい。 ・心の広い人だな。 ○今日のキーワードはなんだろう。 キーワード「寛容」	◆実物投影機を使ってワークシートを見せる。 ◆昨年度の5年生の考えなども提示し、考えを深める。 ◆自分の考えと、順庵の考えを比較できるようにする。			※挿絵の表情も手がかりになることを示唆する。 □手品師の気持ちを想像し、誠実であるために大切にしたいことについて考えている。	・男の子が喜んでくれたから、これでいいんだ。 ・せっかくのチャンスだったのに。	展 開 後 半
ま と め	○今までに人の失敗や過ちを許した経験がありますか。 道徳カードに記入し、授業を振り返る。	□自分の生活を振り返り、今後の生活に生かそうとしているか。			□自分が誠実であるために大切にしたいことを考えることができたか。 ◆樹形図に追記する事で、考えの深まりや広がりを実感できるようにする。	発表 ○自分が誠実であるために大切にしたいことはなんだろう。 道徳カードに記入し、授業を振り返る。 樹形図に追記する。	ま と め

[illegible]

キートン「誠実」

男の子がかわいそう。

これ口チャンスだ。でも……

手品師が男の子の前で手品をしている時の気持ちを想像しよう。

男の子が喜んでくれてよかった。これでいいんだ。

目の前のお客様を優先約束を守る。

必カード記載の言葉を書く。

歩

牛

牛

牛

8－1 ワークシート(5年生)

「名医、順庵」

名前

☆次のことについて、自分だったらどう考えるか、書きましょう。

○順庵に「元気がないが・・・」と声をかけられた時、孝吉はどんなことを考えただろう。

①自分の考え

②友だちの考え

③友だちの考えを聞いて、考えたこと(自分の考え)

○孝吉の話聞いた順庵は、どんなことを考えただろう。

①自分の考え

②友だちの考え

③友だちの考えを聞いて、考えたこと(自分の考え)

8－2 ワークシート(6年生)

キーワード連想ゲーム

名前

誠実

8－3 ワークシート(道徳学習カード)～省略